

【参考】先端医療センター病院統合及び神戸アイセンター病院開設の概要

1. 先端医療センター病院（60床）の中央市民病院統合

【統合予定日】

平成29年11月1日

【病院概要】

- 開設者：公益財団法人先端医療振興財団⇒神戸市民病院機構へ統合
- 所在地：神戸市中央区港島南町2丁目2番
- 診療科目：糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科
(予定)
- 病床数：60床

【統合による効果】

- 救急医療体制の強化
増床する60床を含めた768床の効率的な病床運営を行うことで、救急バックベッドを確保し、より一層の救急患者の受入れ体制の充実
- 神戸医療産業都市における臨床研究実施体制の拡充
先端医療センター病院で実施中の臨床研究・治験は、原則として中央市民病院で継承し、より安全で安定的な臨床研究・治験実施体制を確立し、最先端の研究開発の成果を提供
- 財政効果
市として国からの交付税措置が受けられるとともに、一般財源支出の軽減効果

2. 神戸市立神戸アイセンター病院の開設

【開設予定日】

平成29年12月1日

【病院概要】

- 開設者：神戸市民病院機構
- 所在地：神戸市中央区港島南町2丁目1番地の8
- 診療科目：眼科
- 病床数：30床

【主な役割】

- 眼科の基幹病院
眼疾患に関し、市民病院として神戸市域において標準医療から最先端の高度眼科医療まで地域医療を高い水準で担う
- 中央市民病院と先端医療センター病院の眼科機能の集約・拡充
- 眼疾患に係る臨床開発（治験・臨床研究）推進の臨床基盤

3. 課題

- ガバナンスの確立
4病院体制におけるP D C Aサイクルの構築にかかる体制整備
- 患者（市民）への周知
患者（市民）にとってわかりづらくなる可能性があるため、各種広報や案内表示の設置など患者（市民）にわかりやすい広報の実施
- 医療職の確保
組織拡大に対応した医療職の確保
- 開設・統合に向けた準備
業務量の増加への対応、中央市民病院の医療提供体制の再構築